

火災には全く関係が無い 骨髄バンク のお話です！

NBS119

ニュースで知った 骨髄バンクに関する事実です。驚きと共にたくさんの

切ない悲しみを知り、もっと皆さんに知って頂こうと思い、まとめました。

公益財団法人「日本骨髄バンク」に登録して造血幹細胞移植を待っておられる白血病などの難病患者の皆さんのうち、昨年末までの5年間で**1655人**ものかたが移植を受けられず、待機中に亡くなっていたんだそうです。また待機中に病状が悪化したため**286人**が登録を取り消したそうです。煩雑な手続きなどで登録から移植までにかかなりの時間がかかることが一因とみて、日本骨髄バンクは待機日数短縮の検討を始めたそうです。

正常な血液を造ることができない白血病などの患者さん達が血縁関係のない他人から移植を受けるには、骨髄バンクへの登録の必要があります。

骨髄バンクによりますと、2010年からの5年間に新たに登録したかたは**1万1042人**で、このうち、亡くなったかたや病状が悪化したかた、血縁者からの移植や他の治療法である臍帯血（さいたいけつ）移植、化学療法への変更などで計**3648人**がバンクによる移植を受けず、翌年末までに登録を取り消したそうです。

待機日数があまりに長いため治療方法を変えた人もいます。

待機日数は2003年に約**175日**（全登録患者の中央値）で、手続き方法を改善する試みにもかかわらず、15年にも**147日**と約5カ月かかったそうです。

このため、移植を待つ医療現場からも短縮を求める声が多くあったそうです。

造血幹細胞を提供するドナーの登録者は約46万人で、患者の約96%には移植に適したドナー登録者が見つかるそうですが、ドナー側の仕事の都合や健康状態、家族の同意、転居先不明などから、移植に至るのは50%にとどまるそうです。

同バンクは、家族や第三者立ち会いの下で従来は別の日にしていたドナーの最終同意書作成の手続きを、骨髄採取のための健診直前に行うことで、患者の待機日数をさらに1カ月弱短縮する対策を検討したりしているようですが、道は厳しそうです。

私達に今出来る事は、ただ一人でも多くドナー登録をすることしかできません！

抜け出せない深い暗闇から這い上がる手助けができるのは、あなたかもわかりませ

ん！ 皆さん是非一度 日本骨髄バンクのホームページを覗いてみてください！



西日本防災システム
NISHINIHON BOHSAI SYSTEM Co., Ltd
<http://www.nbs119.co.jp/>



弊社Top Pageへ